

昨年、クロスロードのイベントで集まった震災支援金を、
仙台のアートイベントに届けに行ってきました。
そこで見た復興に励む仙台の街は、とても力強く見えた。

明かりのない中でペン一本握り、絵を描きあげるアーティストと、
それを拾うべく、資金のない中で開催を決めたアートイベント。
「自分はこれでやるんだ」という決意や覚悟を目の当たりにして、
支援をしに行ったはずの僕は宿題をもらった気持ちで帰ってきました。

自分が住む北海道・札幌の街には、何があるだろう。

全国トップになる程にこの街のロケーションは魅力的で、
けれど、その恵まれた大地の上で人々が何をしているのかと問われたら、
ここに住む僕たちは胸を張ってどんなことを答えられるだろう。

どこか東京の流行をなぞるように、

それを追いかけてきてるだけではなかったか。

テレビでは「北海道民は流行に流される」と紹介され、
他県の人がそれに驚くのを見て、僕には正直恥ずかしく思えたんです。
この街にはポリシーがない、そう言われているようで。

歴史の浅いこの街は、誇るべきものを培うことをせずに進んできてやしないだろうか。

培うことを知らないから流行に委ね、人々は上っ面の波に乗り、
この街でステキなものが生まれようとも、足元の視界に目をやらない。
そんな感じ。

この街はそれでいいのかな、って思うんです。

や、大げさな話じゃなく。

この街が好きで、ここで生きていきたいと思って、
ここでステキなものを生み出そうとしても、受け止めてくれる人がいない。

例えば、流行にのらないとこの街では生きていけないなら、
ここに住む人がステキを生み出すこともなくなってしまう。

それって「魅力的な街」って言えるのかな。

この街がステキであるために、

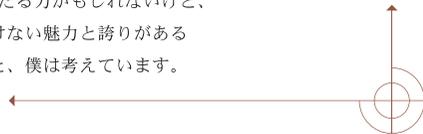
それを胸張ってここに住む僕たちが言えるように、
その輪をどんどんと大きくしながら足元から上げていきたい。
ここで生まれるステキが受け止めてもらえるように、誇りを持った発信をしなきゃ。

どうだい、この街にはこんなにステキなものがあるんだぜ。

もしこの街に住むあなたが今まで知らなかったなら、
今日ここで見て記憶に焼き付けてほしい。

そんなことを、見てくれる人たちに伝えられるイベントにしたいと思うんです。

この街の文化を動かすにはまだまだ徹々たる力かもしれないけど、
足元に広がるステキには、流行に負けない魅力と誇りがある
それを見せられるイベントにしたいと、僕は考えています。



【企画・運営】

フォーンズ合同会社



〒003-0026

札幌市白石区本通17丁目南2番18号

TEL. 011-556-8827

【お問合せメールアドレス】

info@fonesllc.net



【参加者募集ウェブサイト】

<http://fonesllc.net/kuraboshu02>

※参加者選考結果もこちらにて発表致します。

【注意事項】

●お申し込み時の資料画像は内容がわかるものにしてください（わかりにくいと選考に不利になる場合があります）。また資料は返却いたしません。ステキな画像は広報用に使用させて頂く場合があります。●会場内での火気の使用はできません。また、パフォーマンス等で著しく汚れが発生する可能性があるものは、予めお知らせください。●什器・机・イス等の持ち込みは自由です。電源の使用を希望される場合は、予めお知らせください（ディスプレイ程度のものに限りです）。●作品の盗難・紛失・損傷・万引き・売買等のトラブルについては運営側では一切責任を負いかねます。●その他諸事情・天災等により開催が不可能となった場合、参加費はお返しできませんのでご了承ください。●開催の趣旨に合わないもの・公的秩序を乱すもの等は、主催者判断で出店をお断りする場合があります。